

福島教区報

教会数 114ヶ所
布教所数 93ヶ所
(R184.5月現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

立教185年の幕開け

教区制度制定120周年の年

謹んで立教185年の新春のご祝辞を申し上げます。

昨年は、一昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大という厳しい大節に見舞われ、世界中でほとんどの活動が中止や延期、制限された年となりました。ご本部や教区での信仰活動も同様に、中止や延期、自粛を余儀なくされ、おぢばがえりや大切な月次祭さえも制限されてしまう年でありました。

その中、福島教区に繋がる皆様方には、大節にこもる親神様の切ない思いを思案しつつ、所属教会やそれぞれの場所でのコロナ終息や人々のたすかりを願って日々々とおつとめをつとめていただき、更

には、いま出来る信仰活動にと前向きにお励み下さいまして誠に有難うございました。

今年には明治35年に「修理肥の内である」との「おさしづ」で教区制度が制定されてより120年の年を迎えました。10年前には真柱様ご夫妻をお迎えし、東日本大震災後の復興の途に「教区制度制定110周年記念祭」を執行し、大いなる喜びと勇み心をいただきました。

今回は、次代を担う若人に活躍をしていただく場として4月30日「教区制度制定120周年 青年会記念総会」を開催することになりました。ありがたいことに中山大亮・青年会長様のご臨席をいただく予

定です。

今、この福島の地で信仰をさせていただいている私たちは、教区制度120年の歴史を振り返りながら、信仰の有難さを、信仰の喜びを、次代に受け継いでいただけるよう、この「青年会記念総会」を契機に、声をかけ合い、力を合わせて信仰の歩みを力強く進めてさせていただきますと存じます。本年一年も、なお一層、教区、各支部、各部各会の活動の上に、ご尽力ご丹精を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

教区長 平澤勇一

4月29日

提唱90周年

全教一斉ひのきしんデー

4月30日

教区制度制定120年

青年会長様ご臨席

青年会記念総会

「教区祭」開催

10月2日、「教区祭」が福島教務支庁で開催された。例年4月2日に開催されていたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、10月に延期となった。その後、感染状況を鑑みて開催方法を探っていたが、8月から9月にかけて、福島県にも「まん延防止等



重点措置」が出されていたため、座りづとめを教区役職者、支部長、前半を福島、安達、郡山、田村の4支部、後半を耶麻、会津、いわき、相双の4支部の3交代で行うこととした。

その後、平澤勇一教区長がお話をされた。10年前の教区制度制定110周年記念祭での真柱様のお言葉を振り返り、教区は、教会はどういう場所なのか、私達はどのように通ればよいのかを確認した。

続いて、牛坂直之青年会委員長が、立教185年年4月30日に行われる青年会総会に御臨席の教区青年会総会に向けて思いを語り、協力をお願いした。

(Z・F)

厚生部

「保護司研修会」開催

11月2日、「厚生部 保護司研修会」が福島教務支庁で開催された。

保護司の活動、更生保護について、さらに教内での保護司の状況についても話をした。

まず、天理教保護司連盟副会長の伊藤逸雄先生（北湧分教会長・写真上左）が、

続いて、天理教保護司連盟委員の高橋邦和先生（盛岡分教会長・写真上右）が、ご自身の体験も踏まえて自立準備ホームについて説明した。



最後に福島教区保護司担当者の孔岩雄先生（磐湖分教会長・写真下）が、福島教区内でも保護司の増員を目指しているとし、協力を呼びかけた。



婦人会

「委員長長の集い」を各支部で開催

福島教区婦人会（平澤栄美主任）では、例年秋に福島教務支

会（平澤栄美主任）では、例年

秋に福島教務支

会（平澤栄美主任）では、例年

て感じました。

●福島支部

11月7日 教務支庁

参加者11名

コロナ禍の中、それぞれの様に過ごされていたのか、一人ひとり時間をかけて聞かせていただきました。久しぶりに会って共に

昼食をとり、楽しい時間を過ごすことができました。

参加者11名

●郡山支部

11月11日

参加者4名

それぞれに近況を報告しました。

●いわき支部

11月14日 磐城平大教会

参加者11名

●会津支部

11月17日 會津若松分教会

参加者6名

「教会についてー真柱様

のお言葉について学ぶ」

を読んで、「教会」についてねりあいました。その後、

それぞれの近況を話し合いました。

●相双支部

集まることはせずに、それぞれに近況を聞かせていただきました。

●田村支部
11月3日 南春分教会
参加者3名
コロナ収束のお願いづとめをつとめた後、お互いの近況を話し合いました。



●安達支部
11月15日 安達分教会
参加者4名
「母親講座」の動画を共に視聴しました。



災救隊

「白川山林整備ひのきしん」に

10名参加

11月26日から
27日にかけて

「白川山林整備ひのきしん」が天理市白川地区で開催された。福島教区隊（生江一行隊長）から10名の隊員が参加した。

26日午後は、白川管理棟前で結隊式後、12月12日に行われる奈良マラソンに向けて、白川地区のコースに伸びている樹木の枝を伐採した。27日は、主にマラソンコースを中心に草刈りや落ち葉清掃を行った。



布教部

3月まで各支部を巡回

4月29日開催
の「全教一斉ひのきしんデー」

は、昭和7年に
始まって以来、今年提唱90
年を迎える。

布教部（橋本忠知部長）では、この節目に向けて、「全ようぼくに案内を届ける」ことを目指して、各教会に趣旨の徹底を図るため、昨年12月から3月にかけて各支部を巡回している。12月には福島支部と安達支部の支部例会に教区布教部員が赴き、思いを伝えた。

さらに、これを機に「ようぼくの掘り起こし」を進め、教祖140年祭の年祭活動に、一人でも多くのようぼくが取り組めるように、「全ようぼくへ声を届ける体制

作り」にも努め、支部から系統を超えた声かけができるようにと促された。今後、その他の支部へも順次巡回がなされる。

全教一斉ひのきしんデー

報恩感謝の心で
一手一つにひのきしん
～家族ぐるみで参加しよう～

全ようぼくへ案内を届けよう！

青年会

「おぢば伏せ込みひのきしん」に12名参加

福島教区青年会（牛坂直之委員長）では、12月4日、「おぢば伏せ込みひのきしん」を実施、12名が参加した。

3日20時に北岩原分教会を出発し、翌朝おぢばに到着。神殿でおつとめをつとめた。磐城平詰所で休憩した



後、百母屋へ移動し、隊服に着替えた。朝礼の後、百母屋近くの畑へ移動。少し冷たい風が吹きつける中、午前中は玉ねぎの苗の植え付け、午後は豆の収穫を行った。午前中は青年会長様と共に畑に入り、参加者は勇んでひのきしんに汗を流した。夕づとめの後、修練として橋本忠



治君（行理山分教会）と生江ゆう大君（新河沼分教会）の2名が感話を行い、その後、夕食を食べながら懇親を深めた。

翌朝も部屋やトイレの清掃をして伏せ込みに努め、帰路についた。



天理教福島教区青年会

青年会長様 御臨席総会

立教185年(令和4年)4月30日(土)

時間：10時30分より執行

場所：天理教福島教務支庁

内容：おつとめ・記念式典

教区制度120周年

明治35年に教区制度が
制定されてより120年の
節目を迎えます。

この時句に記念総会を
開催し、県内に繋がる
次代を担う若者たちと

「世界たすけ」へ向か
って一手一つに更なる
成人への道へ進みまし
ょう！

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索！

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)